

法令

明治二十三年三月分

岡山縣報

第六號

發行所

備作時事社

岡山縣備前國岡山市大字内山下六番邸



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



岡山縣報第...號索引目次

第十六號	(地方稅徵集期限中追加ノ件)	一葉表
第十七號	(菓子營業人心得書改正ノ件)	同
第十八號	(縣令第六號第二條中追加ノ件)	二葉表
第十九號	(小學校位置施行ノ件)	同
告示		
第十五號	(海軍兵學校生徒募集ノ件)	一葉表
第十六號	(漁業取締ノ爲通知ノ件)	同
第十七號	(郡徵兵參事員補欠撰舉ノ件)	同
第十八號	(臨時縣會閉會ノ件)	同
第十九號	(徵兵參事員補欠撰舉開會ノ件)	同
第二十號	(縣徵兵參事員改選ノ件)	同
第二十一號	(裁判開廷場所管轄區域期日增加ノ件)	同表
第二十二號	(租稅外ノ歳入收納方區分ノ件)	二葉表
第二十三號	(避病院閉鎖ノ件)	同
第二十四號	(執務時間改正ノ件)	同
第二十五號	(馬体解剖施設ノ件)	同
第十號	(火災水害警防上注意ノ件)	一葉表
第十一號	(組合ヲ設クル町村ノ協議上ノ件)	同
第十二號	(郡書記日當ノ件)	同
第十三號	(互選調製書式ノ件)	同
第十四號	(歳入第二款以下ノ收入取)	二葉表
第十五號	(地方費支辨ニ係ル文具給與概則ノ件)	同
第十六號	(召集旅費金受領上ニ付テノ件)	同表
第十六號	(教育費收支豫算ノ件)	同

第十七號	(二十三年度歳入中科目變更ノ件)	同
第十八號	(訓令乙第十二號中書式改正ノ件)	同
第十九號	(國稅ニ對スル交附金請求手續改正ノ件)	三葉表
第二十號	(乙第廿一號達廢止ノ件)	四葉表
第二十三號	(町村長助役撰舉認可稟請ノ節詳記方ノ件)	同
第二十二號	(撰舉法第四章中ノ各條ニ該當スル者ニ附テ報告方ノ件)	同
訓令丙		
第二號	(陸海軍聯合大演習施行ニ付キ召集方ノ件)	同
第三號	(歩砲兵輜重兵召集方ノ件)	同

岡山縣令第十六號

明治二十二年(二月)岡山縣令第七號地方稅徵收期限第八項ノ次へ左ノ通追加ス

明治二十三年三月一日

岡山縣知事千阪高雅

一納期未日曜日又ハ大祭日祝日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ期限トス

岡山縣令第十七號

明治十八年(六月)當縣甲第五十五號布達菓子營業人心得書左ノ通改正ス

明治廿三年三月四日

岡山縣知事千阪高雅

菓子營業人心得書

- 一菓子營業者不在又ハ事故アルキハ代人ヲ置キ稅則ニ關スル諸般ノ事ヲ弁セシムベシ此場合ニ於テハ委任狀寫ヲ添へ其人姓名ヲ縣廳ニ届出ベシ
- 一甲収稅部出張所轄内ノ營業者ニシテ乙出張所轄内へ移轉スル者ハ甲出張所へ申出添翰ヲ受ケ鑑札書換願ヲ乙出張所へ指出スベシ
- 一稅則第十二條雇人員數届ハ第一號書式ニ倣ヒ所轄収稅部出張所へ届出ベシ
- 一稅則第十三條製造高及賣上金高ハ第二號第三號書式ニ倣ヒ市ノ營業者ハ所轄収稅部出張所へ郡ノ營業者ハ郡役所へ届出スベシ
- 一菓子營業者ハ第四號離形ニ倣ヒ各自標札ヲ調製シ營業場外ニ掲出スベシ
- 一菓子製造營業者ハ左ノ帳簿ヲ調製シ其時々記載スベシ
- 一菓子賣上帳
- 一賣渡ノ年月日種類數量及代價並ニ買主ノ住所氏名等ヲ廉毎ニ記入シ毎月合計ヲ附シ置クモノトス但小賣ヲ兼タルモノニシテ自製ノ菓子ヲ需用者ニ賣捌キタル分ハ其日縮高ヲ以テ記入シ買主ノ住所氏名ヲ記スルニ及ハス

縣令

一營業人廢業ノ節ハ納期ニ抱ハラズ製造稅ヲ完納スベシ
第一號

雇人員數御届

何國何市郡何町何番邸

某

全

某

全

何

何

某

右ハ明治何年(七月一日、一月一日)現在(現今新ニ開業スルトキハ)雇人員數前書之通ニ
有之候尤モ以後増減有之節ハ其時々御届可仕候也

何國何市郡何町何番邸居住(寄留)
菓子製造(御賣)〔小賣〕營業人

何

某

印

年月日

岡山縣知事宛

第二號

菓子製造御届

越高何程

一千菓子

此見積代金

何程(幾斤幾貫目何個ノ數以下之ニ做フ)

越高何程

一蒸菓子

此見積代金

何

程

定越高何程

一雜菓子

此見積代金

何

程

越高何程

一何々

此見積代金

何

程

見積代金合計

何

程

右從年月日至年月日製造高前書ノ通相違無御座候也

何國何市郡何町何番邸

某

印

岡山縣知事、郡ハ郡長(宛テ)

第三號

菓子賣上金高御届

一賣上代金

但營業人へ賣渡シタル分(小賣業之者ナルキハ)

何

圓

一賣下代金

但小賣ノ分

何

圓

賣上代金合計

何

圓

縣令

二

右從年月日至年月日賣上金高前替ノ通相違無御座候也
 何市何町何番邸
 年 月 日 製造人 何
 岡山縣知事、郡ハ郡長宛ナ
 第四號
 某 印

鑑札番號
 菓子製造
 小賣營業
 何國何市何町何番邸
 何 某

二尺九寸

●岡山縣令第十八號
 本年(二月)岡山縣令第六號第二條ニ左ノ但書ヲ追加ス
 但郡役所ノ所轄同部ニ跨ルモノニ限り其兩郡聯合スルヲ得
 明治廿三年三月十二日
 ●岡山縣令第十九號
 小學校位置築料左ノ通相定メ來ル四月一日ヨリ旅行ス
 明治廿三年二月十二日
 岡山縣知事千阪高雅

郡市	學區番号	等科	校名	位置	設置區域町村名
岡山市	第一第二第三第四	高等 第一支校 第二支校 第三支校	岡山山	岡山市大字小橋町	岡山市一圓
御	第一第二第三第四	高等 第一支校 第二支校 第三支校 第四支校	伊玉橋 福柏野	石井村大字下出石 伊島村大字津島 御野村大字北方	御野郡一圓 牧野、石井、伊島、御野
野	第五第六第七	高等 第一支校 第二支校 第三支校 第四支校	野田	大野村大字野田 大野村大字安寺	大野、鹿田、今、
郡	第八第九第十	高等 第一支校 第二支校 第三支校 第四支校	青江	芳田村大字青江 鹿田村大字同 今村大字辰巳	芳田、古鹿田、福濱、
津	第一第二第三	高等 第一支校 第二支校 第三支校	香中 臥龍橋 白石 中石 驛山	一宮村大字幸川市場 橫井村大字橫井上 金川村大字金川 白石村大字白石 一宮村大字辛川市場 一宮村大字尾上 馬屋下村大字芳賀 馬屋下村大字長野	一宮、白石、平津、橫井、野谷、馬屋上、牧、宇垣、金川、上建部、建部、宇甘東、宇甘西、一宮、白石、馬屋下、

●縣令

三

●縣令

四

梨		磐		郡					坂																
第六	第四 第五	第一 第二 第三		第十五	第十四	第十三	第十二	第十一	第十九	第十八	第十七	第十六	第十五	第十四	第十三	第十二	第十一	第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四	
尋常	全尋常 支校	全尋常 第一支校 第二支校	全尋常	尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常
小野田	吉原	佐伯	千種	吉原	佐伯	國原	研精	土師	小鎌	仁堀東	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村	山方村
小野田村大字殿谷	石生村大字田原上	佐伯北村大字石	佐伯北村大字稻蒔	佐伯本村大字米澤	太田村大字鍛冶屋	豐田村大字吉原	佐伯本村大字米澤	葛城村大字國少原	五城村大字伊田	五城村大字西	竹枝村大字大田	竹枝村大字師方	市都美村大字中畑	布都美村大字小津	仁堀東村大字仁堀東	山方村大字中山	山方村大字瀧山	山方村大字黑本	山方村大字里	山方村大字周匠	山方村大字阪邊	山方村大字今井	山方村大字今井	山方村大字今井	山方村大字今井
小野田	石生、豐田	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯	上佐伯北、佐伯本、佐伯

赤	郡										高							
第五	第二 第三 第四	第一	第廿一 第廿二	第十九	第十八	第十七	第十六	第十五	第十四	第十三	第十二	第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四
尋常	全尋常 支校	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常	全尋常
西山	高陽	赤田	温良	豐岡	高富	圓城	富永	高谷	加茂	宇部	建部	臥龍	弘智	牧山	高山	香橋	平津	
西山村大字西谷	鳥取中村大字高屋	鳥取上村大字町新田	江與味村大字江與味	新山、江與味	豐岡、	富津、	上田、	長田、	福山、	加茂、	宇部、	建部、	金川、	宇垣、	牧山、	馬屋上、	橫井、	平津、
西山	東高月、鳥取下、鳥取中	赤坂郡一區	新山、江與味、	豐岡、	富津、	上田、	長田、	福山、	加茂、	宇部、	建部、	金川、	宇垣、	牧山、	馬屋上、	橫井、	平津、	

●縣令

九

下					郡					
第十一	第十	第九	第八	第七	第六	第五	第四	第三	第二	第一
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
常	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支
倉山	九城	弘道	新本	育英	日新	明誠	穗井	邇摩	鳴川	時習
下倉	久代	山田	新本	蘭村	箭田	吳妹	穗井	二方	川邊	岡田
下倉	久代	山田	新本	蘭村	箭田	吳妹	穗井	二方	川邊	岡田
下倉	久代	山田	新本	蘭村	箭田	吳妹	穗井	二方	川邊	岡田

後					郡					
第六	第五	第四	第三	第二	第一	第十	第九	第八	第七	第六
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
常	支	支	支	支	支	支	支	支	支	支
精德	義之	慎思	對龍	齊秀	有源	精研	真鍋	木嶋	神島	神島
山野	西江	木之子	縣主	出部	高屋	後月	真鍋	北木	神島	神島
山野	西江	木之子	縣主	出部	高屋	後月	真鍋	北木	神島	神島
山野	西江	木之子	縣主	出部	高屋	後月	真鍋	北木	神島	神島

●縣令

十三

東	南	條	郡	西	北	條	郡	々
第 三	第 二	第 一	第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一
全 支	全 支	全 支	全 支	全 支	全 支	全 支	全 支	全 支
高 野	玉 琳	津 山	香 北	香 美	田 邑	一 宮	脩 明	津 水
高野村大字野	津山東町大字上之町	津山東町大字上之町	香々美北村大字感畑	香々美北村大字感畑	田邑村大字上田邑	一宮村大字東川邊	西宮田村大字北	津山町大字宮脇町
高野村大字野	津山東町大字上之町	津山東町大字上之町	香々美北村大字感畑	香々美北村大字感畑	田邑村大字上田邑	一宮村大字東川邊	西宮田村大字北	津山町大字宮脇町

西	郡	庭	大	郡
第 十	第 九	第 八	第 七	第 六
全 支	全 支	全 支	全 支	全 支
久 田	千 之	大 庭	河 陽	米 來
久田村大字久田上原	千之	大河庭	河陽内	米來
久田村大字久田上原	千之	大河庭	河陽内	米來

郡 野 吉					郡 北										
第 九	第 八	第 七	第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一		第 十 三	第 十 二	第 十 一	第 九	第 八	第 七
全	全	全	全	全	尋	全	尋	全	尋	尋	尋	尋	全	尋	全
支 校					支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校
格	有	三	芳	金	風	松	青	旭	坂	守	雙	吉	精	梶	豐
知	終	遷	川	川	化	齡	野	霧	根	真	山	野	業	並	並
粟 廣 村 大 字 田 殿	粟 井 村 大 字 馬 形	吉 野 村 大 字 赤 出	大 野 村 大 字 川 上	讚 甘 村 大 字 下 庄	石 井 村 大 字 海 内	石 井 村 大 字 上 石 井	東 原 村 大 字 古 野	大 原 村 大 字 古 野	西 原 村 大 字 坂 根	西 原 村 大 字 長 尾	粟 井 村 大 字 小 野	大 原 村 大 字 古 野	瀧 尾 村 大 字 堀 坂	梶 並 村 大 字 泥 並	
粟 廣	粟 井	吉 野	大 野	讚 甘	石 井	東 原	西 原	大 吉	大 原	粟 倉	大 吉	大 野	瀧 尾	梶 並	豐 並

郡 勝					郡 條					郡 北 東			郡					
第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一	第 八				第 七	第 六	第 五	第 四	第 三	第 二	第 一	第 五	第 四
全	全	全	全	全	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	
支 校					支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	支 校	
吉 野	植 月	明 知	開 蒙	致 志	新 野	勝 北	阿 波									加 茂	加 茂	
吉 野 村 大 字 豐 久 田	植 月 村 大 字 熊 中	廣 野 村 大 字 田 熊	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂	廣 野 村 大 字 勝 加 茂		
吉 野	植 月	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	廣 野	

久	米	北	條	郡
第九	第八	第七	第六	第五
第十	第十一	第十二		
高等	尋常	尋常	尋常	尋常
秀實	曠水	格致	大倭村大字南方中	河邊
倭文東村大字桑上	倭文西村大字中山手	倭文西村大字中山手	倭文西村大字中山手	河邊
倭文東、倭文中、打穴	倭文西、三保、大倭	倭文東、大倭西、大倭	倭文東、大倭西、大倭	河邊

英	田	郡	勝	南
第一	第二	第三	第四	第五
第八	第七	第六	第五	第四
高等	尋常	尋常	尋常	尋常
倉敷	江見	福本	勝南	勝南
倉敷、豐田、檜原	江見、土居	福本、巨勢	勝南、湯郷、公	勝南、湯郷、公

郡	久	米	南	條	郡
第十三	第一	第三	第四	第五	第十一
全支校	高等	尋常	全支校	全支校	全支校
鶴田	久米南	高濱	時中	龍山	弓削
大井和村大字境	鶴田大字角石谷	弓削村大字下弓削	福渡村大字山口	神目村大字神目中	神目村大字下二ヶ山
鶴田	久米南條郡一圓	神目	福渡	龍山	龍川

●岡山縣告示第拾五號
 明治二十三年八月海軍兵學校生徒五十名召集之義本年一月海軍省告示第一號及二月六日官報
 二席有之候ニ付明治二十三年八月一日以前出生ニテ志願ノ者ハ來ル四月二
 十日限り願書當廳へ差出スヘシ
 明治二十三年二月五日
 岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第拾六號
 兵庫縣ニ於テ漁業取締ノ爲メ左記之通令達セシ旨通知アリ
 明治二十三年三月五日
 岡山縣知事千阪高雅

●兵庫縣告示第百四十四號
 明治二十一年縣令第百四十四號漁業組合準則ニ依リ設置シタル組合ノ漁場區域内ニ於テ從來ノ
 慣行ニ依リ入曾漁業捕ヲ併稱ス
 爲スモノハ縣ノ内外人ヲ問ハス其他組合規約ニ從フベシ
 明治二十三年二月二十二日
 兵庫縣知事林 董

●岡山縣告示第拾七號
 津高、邑久、兒島東、北、四郡撰出郡徵兵參事員補欠陳舉セシメ候處左之通當撰ス
 明治二十三年三月六日
 岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第拾八號
 當縣臨時縣會本月六日閉場ス
 明治二十三年三月八日
 岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第拾九號
 同氣、眞、南、郡撰出徵兵參事員台堂名欠員セシニ付來ル四月七日午前八時補欠撰舉會ヲ開キ
 同日午後第三時投票函ヲ閉鎖ス
 明治二十三年三月八日
 岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第貳拾號
 本縣常置委員改撰ニ付縣徵兵參事員改撰左記人名ノ者當選ス
 明治二十三年三月八日
 岡山縣知事千阪高雅

●告示

林 酸平 岩堂保平
日笠恒太郎 淺羽貞一郎

●岡山縣告示第貳十一號
本(三月)司法省告示第...以テ岡山始審裁判所管内出張所裁判開廷場所管轄區域及期日增加相成候ニ付別紙之通本縣管内へ告示方岡山始審裁判所ヨリ照會有之候此係旨心得ヘ
明治二十三年三月二十日
岡山縣知事 千阪高雅

岡山始審裁判所管内治安裁判所出張所裁判開廷場所增加及管轄
區域開廷日期并心得書

開廷場所	管轄區域	開廷日期
岡山治安裁判所 味野出張所	味野出張所 管轄兒島郡ノ内下井村甲浦村大門村針立村胸上村山田村ヲ除ク外一圓	自一月十一日 至全月二十日 自三月十一日 至全月二十日 自五月十一日 至全月二十日 自九月十一日 至全月二十日 自十一月十一日 至全月二十日
津山治安裁判所 勝間田出張所	勝間田倉敷管兩出張所内一圓	自一月十一日 至全月二十日 自四月十一日 至全月二十日 自七月十一日 至全月二十日 自九月十一日 至全月二十日 自十一月十一日 至全月二十日

一明治二十二年五月二十日勅令第六十七號治安裁判所出張所裁判規程ニ依リ民事訴訟及ヒ勸事事件ヲ提出セントスル者ハ可成原被同道ニテ出頭スヘシ
一原被同道ニテ出頭シ難キ者ハ延辯數限リアルニ付開廷前訴狀若クハ呼出狀送達及ヒ出廷シ得ヘキ猶豫ヲ見込訴訟勸解共提ヒスヘシ
一訴答ハ書面ニ作ラス口頭ニテ爲スヲ得
一口頭ニテ訴答ヲ爲ス者ハ名刺ニ其住所氏名ノ外請求若クハ答辨等ノ名稱ヲ記シ之レニ成規ノ印紙ヲ貼用スヘシ
一民事訴訟ハ一應勸解ヲ經ルト否トハ自由タルヘシ
一明治二十三年四月ヨリ施行之事

●岡山縣告示第貳拾貳號
明治二十二年法律第四號會計法第三章及全年勅令第六拾號會計規則第三章租稅外ノ歲入收納方
區分左ノ如シ

- 一 訴訟用印紙料
- 一 登記印紙料
- 一 土地臺帳本手数料
- 一 國稅帶納處ノ費辦納金
- 右ハ各收稅部出張所ニ於テ取汲其收入官吏ノ事務ハ同所在勸收稅屬ニ分擔セシムルニ付納入告知書ヲ受クル時ハ之ヲ現金ニ添ヘ所収支金庫ニ納付シ別符台領收証ヲ得タル上其別符ノ切離ヲ該收入官吏ニ請求シ領收証ノ交付ヲ受クルモノトス
- 一 藥用阿片拂下料
- 一 建造物貸下料
- 一 物品貸下料
- 一 遺物約金俸
- 一 地所拂下料
- 一 建物拂下料
- 一 物品拂下料
- 一 有物質坑區稅
- 一 無物質坑區稅
- 一 鐵坑區稅
- 一 學校教員學力試驗手数料
- 一 學校教員免許狀授與手数料
- 一 地所貸下料 森林收入ノ内
- 一 雜種物拂下料 全
- 一 教科用圖書檢定手数料
- 一 醫師開業免許手数料
- 右ハ本廳ニ於テ納入告知書ヲ發シ其收入官吏ノ事務ハ郡ニ屬スルモノハ郡長市ニ屬スルモノハ本縣第二部長ニ於テ取扱ヘキニ付納入告知書ヲ受クル時ハ現金ニ添所在本支金庫ニ納付シ別符

●告示

付領收証書ヲ得タル上其別符ノ切離ヲ該人官吏部ハ郡役所市ハニ請求シ領收証ノ交付ヲ受クル
モノトス

明治廿三年三月二十五日

岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第貳拾二號

岡山縣知事千阪高雅

目今岡山市腸空扶私病消滅ニ付テハ上道郡三權村網濱遊病院ヲ閉鎖ス

岡山縣知事千阪高雅

明治廿三年三月廿五日

岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第貳拾四號

岡山縣知事千阪高雅

自今當廳執務時間左ノ通改定ス

岡山縣知事千阪高雅

四月二十日ヨリ七月十日迄 午前八時ヨリ午後三時ニ至ル

岡山縣知事千阪高雅

七月十一日ヨリ九月十一日迄 午前九時ヨリ午後四時

岡山縣知事千阪高雅

午前入時ヨリ午後二時ニ至ル

岡山縣知事千阪高雅

九月十一日ヨリ四月十九日迄 午前九時ヨリ午後四時

岡山縣知事千阪高雅

ニ至ル

岡山縣知事千阪高雅

但土曜日日曜コハ從前ノ通

岡山縣知事千阪高雅

金錢受拂ハ執務ヲ終ルヨリ二時間前迄トス

岡山縣知事千阪高雅

要急ノ願屆等ハ晝夜ニ拘ハラズ之ヲ受理ス

岡山縣知事千阪高雅

明治二十三年三月廿七日

岡山縣知事千阪高雅

●岡山縣告示第貳拾五號

岡山縣知事千阪高雅

獸醫學獎勵ノ爲メ岡山縣醫學會へ委屬シ來ル四月四日ヨリ同五マテ馬休解剖術術セシムルニ獸

岡山縣知事千阪高雅

醫者ハ精々線台セ岡山市東中山下該會場へ來觀スヘシ

岡山縣知事千阪高雅

明治廿三年三月三十日

岡山縣知事千阪高雅

●訓令甲第九號

諸収入叔納取扱順序別冊之通相定メ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

岡山縣知事千阪高雅

明治二十三年三月五日

岡山縣知事千阪高雅

●訓令甲第拾號

岡山縣知事千阪高雅

市町村ニ於テ火災水害ノ警防ヲ周到ナラシムルカ爲メ消防組水防組ヲ設置シ其組織等ハ條例
トシテ規定スルヲ得ヘシト雖ニ水災ニ關スル事項ハ府縣警察官ノ職權ナルヲ以テ市町村ノ
設立ニ係ル消防組水防組ト雖ニ所轄警察官ノ監督ニ屬シ尙警察官臨場ノ際ハアリテハ其指揮
ヲ受クヘキモノトス就テハ市町村ニ於テ右ノ旨意ヲ誤ルコト無之様注意方今般内務大臣ヨリ
訓令有之候條此旨心得ヘシ

明治二十三年三月十三日

岡山縣知事千阪高雅

●訓令甲第拾壹號

岡山縣知事千阪高雅

町村制第百十六條第一項及第百十七條第一項ニ依リ組合ヲ設ケル町村ノ協議ハ其町村長ヲシ
テ之ヲ爲サシムルモ又町村會議員ノ適宜互撰シタル議員ヲシテ之ヲ爲サシムルモ專ラ町村ノ
便宜ニ任セ不苦候條此旨心得ヘシ

明治二十三年三月十三日

岡山縣知事千阪高雅

●訓令甲第拾貳號

岡山縣知事千阪高雅

明治十九年達甲第拾二號郡書記以下旅費額内書記管内日當四拾錢雇員管内車馬賃五錢同日當
三拾錢ニ改正本年四月一日ヨリ施行ス

明治二十三年三月十三日

岡山縣知事千阪高雅

●訓令甲第拾三號

岡山縣知事千阪高雅

貴族院令第六條及貴族院多額納稅者議員互選規則ニ依リ互選名簿調製候條直接國稅年額千圓
以上納ムル者左ノ書式ニ據リ取調本月三十一日迄ニ縣廳ニ届出ヘシ

明治二十三年三月十四日

岡山縣知事千阪高雅

直接國稅納額調査届

何郡市町村大字何々何番邸
官位身分職業

●訓令甲

(從來本縣ニ本籍ヲ定メ住居又ハ何府縣ヨリ何年何月本籍ヲ移ス云々附記スヘシ)

姓名

何年何月出生
(本年六月十日ノ前滿三十歳ニ達スルモノヲ調査スルヲ要ス)

直接國稅納高

所得稅納額

但納稅地何郡市何町村

(俸給手當年金賞與金等ハ勿論株券公債証書ノ利子及貸家料ノ類ヨリ生スル) 所得稅ハ除ク

金若干 何々工業ヨリ生スル所得稅額

金若干 何々商業ヨリ生スル所得稅額

金若干 土地ヨリ生スル所得稅額

金若干 地租納額

(賣買讓與ニヨリ土地ノ所有權移轉ノ場合ニ於テ其所有ノ年限ヲ算スルハ登) 記ノ日ニ依ルヘキモノトス且質取地ノ地租納額ハ之ヲ除ク

金若干 何郡何町地租納額

何年何月(本年四月一日ノ前滿一年以上ヲ記スヘシ又ハ初メテ土地所有セシ年月不詳ナルハ本年四月一日ノ前一年以上年月以前ヨリ云々ト記スヘシ)ヨリ間斷ナク納稅額

金若干 但家督相續シテ一ケ年未滿ノモノハ其相續ノ年月ヲ復記スヘシ

金若干 何市地租納額

金若干 何郡何村地租納額

金若干

何郡何町地租納額

但共有地地租負擔ノ分

郡市長姓名印

右ハ貴族院多額納稅者取調方御達ニ據リ調査候處相違無之ニ付此段及御届候也
岡山縣知事姓名殿

郡役所

●訓令甲第拾四號

本廳所管ニ屬セサル歳入第二款以下ノ收入ハ本年訓令甲第九号收納順序ニ準據シ取扱納入告知書ニハ其主管廳ヲ記入シ發スヘキニ付報告書等總テ本廳所管ノ歳入ト各別ニ調理スヘシ

但現金收入ヲ要スルモノアル時ハ其拂込書ニ其主管廳ヲ記入スヘシ

明治二十三年三月十五日 岡山縣知事千坂高雅

本年訓令甲第九号收納順序書式第一号納入告知書ト領収證書ニ金庫割印及領收證書金印ノ肩ニ收入官吏檢印及其下ニ金庫取扱主任ノ印脱落ス

明治二十三年三月十五日 岡山縣書記官

●訓令甲第拾五號 郡役所

當縣地方費支辨ニ係ル文具給與概則左ノ通相定ム

但本年四月一日ヨリ施行ス 岡山縣知事千坂高雅

明治二十三年三月十八日

●文具給與概則

第一項 本則ニ於テ文具ト稱スルハ左ノ物品ヲ總稱ス

筆 鉛筆 硯 朱墨

インキ 檢印用印肉 卷紙 押紙 硯石 硯箱

インキ壺 字消護膜 簿記用海綿 小刀 錐 尺 度

湖壺 水入 文鏡 檢印用肉池 紙 挾 火熨斗

机拂用ブラシ 綴金及留針 烏口 紙 挾

第二項 文具ハ現品ヲ以テ給セス (當分并臨時雇寫字生及) 一ケ月金拾五錢ヲ給與ス但離隔ノ

場所ヘ兼務者ハ別ニ半額ヲ支給ス 門衛小使ノ類ハ除ク

第三項 前項ノ代料ハ年俸月俸ヲ受クルモノハ俸給支給ノ全日時ニ支給シ日給ヲ受クルモノハ翌月二日ニ支給スルモノトス但休日ニ當ルキハ順次繰上トス

●訓令甲乙

第四項 新任轉任非職廢官退官及死亡ノ者ニハ當月分ノ文具料ハ全額ヲ給ス但地方稅支弁ノ範圍内ニ於テ轉任轉勤ノ場合ニハ重複ニ支給スルヲ得ス

第五項 非職廢官退官ノ者事務引繼殘務取調ノ命ヲ受ケ公務ニ從事スル其間ハ從前ノ文具料ヲ給ス

第六項 病氣又ハ私事ノ故障ニ依リ公務ニ從事セサル月ハ文具料ヲ給與セス

第七項 縣立學校教諭助教諭訓導及警察監獄ノ外勤事務ニ從事スルモノ其他門番小使等ノ詰所ハ相當ノ現品ヲ配置ス

第八項 職務上高價ノ文具ヲ要スルモノアルキハ知事ノ認可ヲ得テ各所ノ物品トシ所用者ヘ貸與スルコトヲ得

●訓令甲第拾六號

明治二十三年(二月)陸軍省令第五号ニ依リ召集旅費金受領ノ爲メ監視區長駐劄所及郡役所等へ出頭スヘキ者ノ内一日間ニ往復シ能ハサル者アルトキハ更ニ最寄ノ町村役場へ監視區長出張ニ付其一日間ニ往復シ能ハサル者ハ郡長於テ豫メ取調且適宜ノ町村役場ヲ監視區長ニ通知スヘシ

●訓令乙第拾七號

明治二十三年三月三十一日

岡山縣知事千坂高雅

●訓令乙第拾六號

明治二十三年度教育費收支豫算之儀ハ這回ニ限り開會前經伺ニ及ハス尤モ先キニ認可濟ノモノト否トナ問ハス經費決定ノ豫算ヲ報告スヘシ

●訓令乙第拾七號

明治二十三年三月七日

岡山縣知事千坂高雅

明治二十二年及明治二十三年度歲入科目雜收入ノ款雜收入ノ項中滯納處分費ノ目ヲ廢シ更ニ辨償金ノ項中違約金ノ次ニ國稅滯納處分費辨償金ノ一目ヲ設ケラル

●訓令乙第拾八號

明治二十三年三月十日

岡山縣知事千坂高雅

本年當縣訓令乙第拾貳号中第二号書式ノ内書左ノ通改正ス

●訓令乙第拾八號

明治二十三年三月十日

岡山縣知事千坂高雅

金 若干

何年何月(選舉人名簿調製期日前滿一ケ年以上ヲ記スヘシ)ヨリ間斷ナク納稅額

但家督相續シテ一ケ年未滿ノモノハ其相續ノ年月ヲ複記スヘシ

金 若干

何年何月(初メテ土地所有セシ年月不詳ナルハ名簿調製期日前一ケ年以上ノ年月ヲ記スヘシ)以前ヨリ間斷ナク納稅額

但前ニ全

金 若干

何年何月(選舉人名簿調製期日前一ケ年未滿ヲ記スヘシ)後納稅額

●訓令乙第拾九號

明治二十二年(九月)當縣訓令第五十貳号市町村ノ徵收シタル國稅金ニ對スル交付金請求手續中左ノ通更正ス

明治二十三年三月十三日

岡山縣知事千坂高雅

第一條中

一項三行目(五日)ヲ(四月一日十月三日)ニ(ヲ經テ)以下十五字ヲ(ヘ差出スヘシ)ノ六字ニ更ム

第二條第三條左ノ通更ム

第二條 前條交付金ハ内國稅徵收費會計主務官ノ調製シタル金庫宛領收證書ヲ以テ交付スヘキニ付第二号様式ノ領收證書ヲ差出シ(四月十月)二十日迄ニ請取方所轉收稅部出張所(市)ハ收稅部徵稅費課(市)申立ツヘシ

第三條 市町村ハ前條ノ金庫宛領收證書ヲ得タルキハ之ヲ該金庫ニ差出シ現金ト交換スヘシ

第一号第二号様式左ノ通更正第一号附屬様式ハ刪除ス

(第一号)

明治何年度(自四月一日)至何年十月一日(自何年十月一日)至何年三月卅一日(自何年三月卅一日)至何年三月卅一日)國稅徵收金額百ノ四交付金請求書

稅目	納期	別	徵收	濟金	高	百分	ノ	四	金額
所得稅	何年前(後)	半年分	何	何	何	何	何	何	何
自家用料酒鑑札料	隨時	收入	何	何	何	何	何	何	何

●訓令乙

葉子製造稅 何年第一(二)期 何
 製造營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 卸賣營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 卸賣營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 職獵免許稅 隨時收入 何
 計 右國稅徵收金ニ對スル百分ノ四金額御交付相成度此段請求候也
 年 月 日 岡山縣內國稅徵收費會計主務 岡山市長(何郡何町村長)何 某印

備考 百分ノ四金額ハ一廉限リ四捨五入ノ法ニ依リ算出シ厘位ニ止ム其合計欄內左傍ニ(何
 程乘算過不足)ト朱記スヘシ (第二号)
 明治何年度(自四月一日(自何年十月一日)至何年三月卅一日)國稅徵收金額百ノ四交付金額
 稅 所得稅 納期 別 徵收濟金高 百分ノ四金額
 所 家用料酒鑑札料 隨時收入 何
 菓子製造稅 何年第一(二)期 何
 全 製造營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 卸賣營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 卸賣營業稅 何年前(後)半年分 何
 全 職獵免許稅 隨時收入 何
 計 右國稅徵收金ニ對スル百分ノ四金額御交付相成正ニ領收候也
 年 月 日 岡山縣內國稅徵收費會計主務 岡山市長(何郡何町村長)何 某印

備考 第一号樣式ニ同シ 官 姓 名 殿
 ●訓令乙第貳拾壹號
 明治十二年(二月)當縣乙第貳十壹號達ヲ廢止ス
 郡市役所 町村役場
 岡山縣知事千坂高雅

●訓令乙第貳拾貳號
 自今町村長助役選舉認可稟請ノ節ハ補欠其他選舉ノ理由及名譽職エシハ有給ノ區別并其當撰
 者族籍住所公民權ノ有無生年月日共詳記差出スヘシ
 郡役所 町村役場
 岡山縣知事千坂高雅

●訓令丙第貳號
 衆議院議員選舉人名簿調製後選舉期日以前ニ於テ選舉法第四章中各條ニ該當スルモノアルト
 キハ其旨市町村長ハ選舉長ニ選舉長ハ之ヲ縣廳ニ報告スヘシ
 但合併投票所內ノ各町村長ハ投票所管理者ニモ報告スヘシ
 郡市役所 町村役場
 岡山縣知事千坂高雅

今般陸海軍聯合大演習施行相成候ニ付テハ第四師團歸休兵及豫備役兵演習召集左ノ通施行候
 旨通知有之候條此旨心得ヘシ
 備前國、美作國 郡市役所
 岡山縣知事千坂高雅
 大坂姫路大津ハ各練兵場
 伏見ハ同兵營內
 彦根ハ彦根舊城內
 參集期日
 步兵第二十聯隊及衛生隊(步兵擔架術卒業者看護手)ハ三月二十二日午前第八時
 步兵第九聯隊ハ三月二十三日午前第八時
 步兵第十聯隊ハ三月廿五日午前第八時
 步兵第八聯隊及野戰砲兵第四聯隊ハ三月二十七日午前第八時

●訓令乙丙

工兵第四大隊ハ三月二十四日午前第八時
輜重輸卒ハ三月二十六日午前第八時
演習日敷
步兵第八聯隊及野戰砲兵第四聯隊ハ三月二十七日ヨリ十六日間
步兵第九聯隊ハ三月二十三日ヨリ十八日間
步兵第十聯隊ハ三月二十五日ヨリ十四日間
步兵第二十聯隊ハ三月二十二日ヨリ十五日間
衛生隊ハ三月二十二日ヨリ二十日間
工兵第四大隊ハ三月二十四日ヨリ十八日間
輜重輸卒ハ三月二十六日ヨリ十二日間
解散地
召集地ニ同シ
●訓令内第三號

備中國 郡役所

近衛師團豫備在役第二年第四年步砲兵ハ來ル四月二十一日全輜重兵ハ五月三十日ヨリ各三週
間召集施行ノ旨通知有之候條此旨心得ヘシ
但參着時限ハ各召集當日午前第八時ニシテ其解散ハ步砲兵ハ五月十二日輜重兵ハ六月二
十日トス
明治二十三年三月三十一日
岡山縣知事千坂高雅

諸収入収納取扱順序
第一條 本廳所管ニ屬スル歳入第二款已下ノ收入ハ此順序ニ據リ取扱フヘシ
但歳入科目ハ別ニ相違スヘシ
第二條 本廳ニ於テハ諸收入ヲ測定シ元帳及明治廿二年大藏省令第十一号第十五号書式
ノ歳入簿測定簿ノ欄ニ記入シ各納人ニ對シ本令付屬書式ノ納入告知書ヲ發シ各納人ヲシテ
金庫ニ納入セシム
第三條 第一條但書科目ノ内訴訟用印紙料登記印紙料土地臺帳謄本手数料滞納處分費ニ限リ
收稅部出帳所長ニ於テ前條ノ事務ヲ取扱フヘシ
第四條 前條ニ據リ收稅部出帳所長ニ於テ取扱フ事務ハ同所在勤収稅屬警察官吏拾得金及沒
収金ニ屬スルモノハ警察署長分署長其他ハ總テ郡長ニ於テ収入官吏ノ事務ヲ取扱フヘシ
第五條 収稅部出張所長ハ第三條ニ依リ納入告知書ヲ發シタルモノト發セサルモノハ滞納處
分費ノ如キ徴収スヘキ金額ノ確定シタルモノトテ區分シ每半ヶ月分測定簿ノ報告書ヲ調製

シ毎月十六日及翌月一日ニ本廳ニ送付スヘシ
但報告後異動ヲ生シタル時ハ其時々報告スヘシ
第六條 納入告知書ハ収入官吏ニ送付シ該官吏ヲシテ納入ニ交付セシム
第七條 収入官吏ハ納入告知書ノ送付ヲ受ルトキハ明治二十二年大藏省令第十一号第十四号
書式ノ収入簿測定簿ノ欄ニ記入シ監査簿ニ其登記ヲ了ヘ納入告知書ハ直ニ納入ニ送付スヘシ
但現金ヲ領収スル場合ニ於テハ其領収スヘキ金額ノ確定セシトキ収入簿測定簿ノ欄ニ其
金額ヲ登記スヘシ
第八條 納入告知書ハ納入者ノ納金ト共ニ金庫ニ持參セシメ収入官吏ハ會計規則第二十九條
ニ依リ金庫ノ發シタル領収書式ノ場所ニ捺印シ別符ヲ切離シ領収証ヲ納入ニ返付スヘシ
第九條 収入官吏現金ヲ領収シタルモノハ収入簿ニ記入シ爲シ明治二十二年大藏省令
第十一号第二号書式ノ領収証書ヲ納入ニ交付シ全号第三号書式ノ現金拂込書ヲ製シ現金ニ
添同大藏省令第十三号出納官吏現金取扱規則第十五條ニ據リ金庫ニ送付スヘシ
但全條但書ノ場合ニ於テハ五日間毎ニ取纏メ送付スルヲ得
第十條 収入官吏其拂込金ニ對シ金庫ヨリ領収證ヲ送付ヲ受ル時ハ三日以内月末ノ分ハ翌月
一日ニ本廳又ハ収稅部出張所長ニ之ヲ送付スヘシ
第十一條 本廳又ハ収稅部出張所長ハ收入官吏ヨリ送付シタル金庫ノ領収證ヲ檢シ收入檢定
簿ニ登記シ領収證書式ノ場所ニ捺印シ別符ヲ切離シ領收證ハ收入官吏ニ返付スヘシ
第十二條 收稅部出張所長ハ前條ニ依リ捺印シタル時ハ毎月其報告書ヲ製シ翌月五日迄ニ之
ヲ本廳ニ送付スヘシ
第十三條 収入官吏ハ會計規則第三十條ニ據リ明治二十二年大藏省令第十一号第四号書式ノ
毎月収入報告書ヲ調製シ左ノ書類ヲ添翌月五日迄ニ之ヲ本廳又ハ収稅部出張所長ニ送付ス
ヘシ
第一 納入告知書ノ金額納期日細別表
第二 收入金月計對照表
第三 欠損金明細書
第四 納期日後未納收入事由明細書
右之外収入官吏ニ於テ必要ト見認ルモノ
第十四條 収稅部出張所長ニ於テ前條報告書ノ送付ヲ受クルトキハ三日以内ニ之ヲ取纏メ明
治二十二年大藏省令第十一号第五号書式ノ毎月収入總報告書式ニ準シ集計表ヲ製シ該報告
書及月計對照表ト共ニ之ヲ本廳ニ送付スヘシ
但送付スヘキ報告書一通ニ過キサルトキハ集計表ヲ要セス該報告書ニ添書ノ送付スヘシ

訓令丙

第十五條 本廳ハ收入官吏ノ收入報告書ヲ取纏メ明治二十二年大藏省令第十一号第五号書式ニ準シ毎月收入總報告書ヲ製シ左ノ書類ト共ニ之ヲ大藏省ヘ送付ス

第一 收入官吏ノ毎月收入報告書

第二 收稅部出張所長ノ集計表

第三 收入金月計對照表

右ノ外調査上必要トスルトキハ其都度主任官ヨリ書類ノ送付ヲ請求スルモノ

第十六條 前各條ニ記載シタル帳簿ノ外本廳ハ歳入内譯簿檢定報告書留簿過誤納拂戻金整理簿收入未濟金整理簿損金整理簿ヲ設ケ整理フヘシ

第十七條 收入官吏ハ會計規則第九十五條ニヨリ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ本廳ヘ送付スヘシ

第十八條 但收稅部出張所長取扱タルモノハ該所長ヲ經由シテ送付スヘシ計算書式ハ追テ相定ム

第十九條 本廳ハ前條計算書及證憑書類ノ下檢査ヲ執行シ其下檢査書ヲ添ヘ之ヲ會計檢査院ニ送付ス

第二十條 收入官吏ハ金庫ヨリ月計對照表ノ送付ヲ受クル時ハ明治二十二年大藏省令第七十四号ニ依リ證明フヘシ

第二十一條 細要ナル爲メ便宜補助簿ヲ設ケルコトヲ得

- 第一号書式 諸收入取扱順序書式
- 第二号書式 納入監査簿
- 第三号書式 過誤納拂戻金整理簿
- 第四号書式 收入未濟金整理簿
- 第五号書式 歳入内譯簿
- 第六号書式 檢定報告書留簿
- 第七号書式 檢定報告書
- 第八号書式 檢定報告書
- 第九号書式 檢定報告書
- 第十号書式 檢定報告書
- 第十一号書式 檢定報告書
- 第十二号書式 檢定報告書
- 第十三号書式 檢定報告書
- 第十四号書式 檢定報告書
- 第十五号書式 月計對照表證明書

(一号書式)

用紙適宜 縦四寸五分ノモノ一枚 横三寸三分ノモノ一枚 縦四寸五分ノモノ一枚 横二寸ノモノ一枚 接續

備考 領收証用紙ニハ納人ノ金額納入ノ年度種類等總テ納入告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス

第 号	何 年度	何 郡 何 村	何 某 納
「收入官吏氏名 扱」 岡 山 縣			
「金 何 程」			
但「何年何月ヨリ何日マテノ分何々貸付料又ハ何々賣拂代ト云フカ如ク收入金ノ目的ヲ記ス			
右「何」年「何」月「何」日限リ何々金庫へ納入スヘシ			
明治 年 月 日 「納入告知書發行者氏名」			
第 号 何 年度 何 郡 何 村 何 某 納			
「收入官吏氏名 扱」 岡 山 縣			
「金 何 程」			
但「收入ノ目的ヲ記入スルコト前葉ニ同シ」			
右 領 収 候 也			
明治 年 月 日 何 々 金 庫			
第 号 何 年度 何 郡 何 村 「何 某」納		第 号 何 年度 何 郡 何 村 「何 某」納	
經常(臨時)何々(款)何々(項)何々(目)		經常(臨時)何々(款)何々(項)何々(目)	
「收入官吏氏名 扱」 岡 山 縣		「收入官吏氏名 扱」 岡 山 縣	
「金 何 程」		「金 何 程」	
明治「何」年「何」月「何」日		「何」々「何」々金庫へ納入	

訓令丙

六

(二号書式) 調定元帳ノ様式 (用紙美濃紙)

知事所發行月日	期日	款	項目	収入ノ目的	金庫領	金額	取扱収入
長ノ印番	號	何々	何々	何年何月何日迄	何月日	何圓	官吏名住所
何々	何々	何々	何々	地所貸下料(如キ)	何月日	何圓	何地名何郡
(備考)	何々	何々	何々	シテ多數アルモノ	何日	何錢	何姓何名何村
整理スヘシ且	其場合ニ於テハ告	知書ヲ	發行	ハ一目毎ニ	シタル	見出テ	付シ
少小計ヲ	登記スヘシ					シタル	都度左ノ如

(三号書式) 小計金何圓何錢 (用紙美濃紙)

收入監査ノ様式	納入告知書	金庫納	金額	納入住所姓名
何々何々何々	期日	何月日	何圓	何村何某

(四号書式) 收入檢定簿ノ様式 (用紙美濃紙)

收入檢定簿ノ様式	拂込書番号	拂込金額	金庫領收月日	収入官吏姓名
何々何々何々	何々	何々	何月何日	何々何村何某

(五号書式) 過課納拂戻金整理簿ノ様式 (用紙美濃紙)

年度	歳	入	収入報告	全年月日	下戻金額	事由	拂戻人住所氏名	下戻月日
何々	何々	何々	何々	何年何月何日	何々	何々	何々何村何某	何月何日

(六号書式) 收入未済金整理簿ノ様式 (用紙美濃紙)

款	項	目	納入告知書	金	額	處分ノ顛末	未納ノ事由	納人住所姓名
何々	何々	何々	期日	何	何	何月何日何々金	何々ノ事由ニヨ	何村何某
			番号			庫ニ收入スミト	リ云々其詳細ヲ	
			何号			記スルカ如シ	記載スヘシ	

(七号書式) 欠損金整理簿ノ様式 (用紙美濃紙)

款	項	目	收入調定額	收入濟額	欠損額	事由	納入住所姓名
何々	何々	何々	何	何	何	欠損ノ理由ヲ記スヘシ	何村何某

(八号書式) 何部局收入官吏氏名

考	備	不納款損額	収入未済額	収入濟額	調定濟額	要	摘	年月日
圓	圓	圓	圓	圓	圓			年
圓	圓	圓	圓	圓	圓			明治

訓令丙

簿 譯 内 入 歳 (八号書式)

某年度歳入金
乙第何号 明治何年何月中月計對照表

應名	本月分		前月迄累計		合計	
某廳主管 某廳						
差引合計						

書面之通相違無之依テ證明有之度候也

明治 年 月 日

何地金庫 印

收入官吏氏名宛

書面ノ金額調査候處相違無之ニ付證明候也

明治 年 月 日

收入官吏官氏名 印

是ヨリ以下ハ收入官吏ニ
於テ記載スヘキモノナリ

金庫

收入官

(十四号書式)
飲損金明細書ノ様式

款項	目	收入調定額	収入済額	飲損額	事由	納人氏名
何々	何々	圓	圓	圓	飲損ノ理由ヲ詳記スヘシ事 由複雜ニ涉ルモノハ別紙ヲ 以テ明記スルモ妨ケナシ	何某

(用紙半紙)

右之通有之候也
年月日

收入官吏何郡長何某
收入官吏何地収稅部出張所收稅屬何某

(十五号書式)

納期日後未納收入事由明細書ノ様式 (用紙半紙)

款項	目	納入告知書 期日一番号	金額	事由	納人氏名
何々	何々	何月何日 何号	圓	未納ノ事由ヲ 明記スヘシ	何某

右之通有之候也
年月日

收入官吏何郡長何某
收入官吏何地収稅部出張所收稅屬何某

(十六号書式) 某年度歳入金

甲第何号 明治何年何月中月計對照表

應名	本月分		前月迄累計		合計	
某 應主 管 某 應						
差引合計						

書面之通相違無之候也

明治 年 月 日

何 地 金 庫

印

收入官吏官氏名宛

割印

吏割印

明治二十三年四月十四日印刷
明治二十三年四月十四日出版

發行所

備作時事社

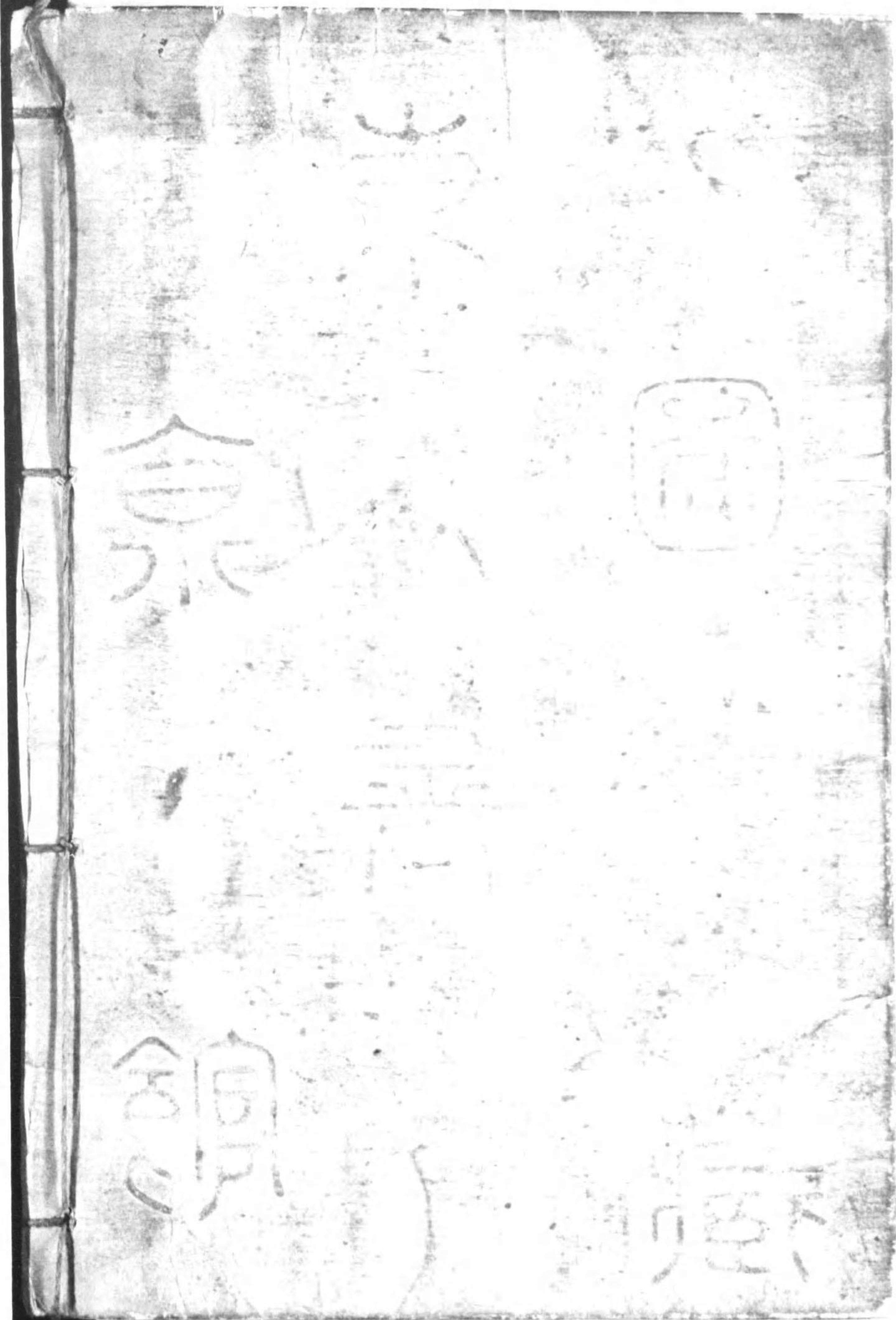
岡山縣備前國岡山市大字
内山下六番邸

編輯者兼發行者

岡山縣備前國岡山市大字
三番町拾五番邸平民
杉山逸平

印刷人

岡山縣備前國上道郡平井村大字
平井九拾五番邸士族
綾野峯造



終